



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社湖池屋
 コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小池 孝
 (氏名) 藤巻 修道
 TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	7,952	2.9	26		1		48	
2019年6月期第1四半期	7,731	9.0	143		107		116	

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 69百万円 (%) 2019年6月期第1四半期 72百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	9.02	
2019年6月期第1四半期	21.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	20,848	12,013	57.0
2019年6月期	22,532	12,297	54.1

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 11,886百万円 2019年6月期 12,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		40.00	40.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	7.5	850	25.5	860	18.8	450	22.2	84.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	5,335,000 株	2019年6月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	843 株	2019年6月期	843 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	5,334,157 株	2019年6月期1Q	5,334,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに变更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

売上高は、7,952百万円（前年同期比2.9%増）となりました。利益につきましては、営業損失26百万円（前年同期は営業損失143百万円）、経常利益1百万円（前年同期は経常損失107百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失116百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

<国内>

2020年6月期の戦略として打ち出している、高付加価値商品の売上拡大、定番商品等の収益改善、新規商材開発を着実に進めました。

スナック菓子市場では、価格競争によるポテトチップスのコモディティ化が進んでおり、また昨今では物流費高騰等によるコストアップに直面しています。そのような状況下で、ポテトチップスの老舗企業である当社ブランドの更なる差別化を進めると同時に、コストアップ等に対応し、主力商品において価格改定を実施するなど収益性向上に取り組んでいます。

辛味スナック市場を牽引し、独創的なブランドとして訴求している「ムーチョ」ブランドは、発売35周年を迎えました。これを機に、ブランドの再拡大と市場の活性化を図り、魚介の旨味が濃縮された「シームーチョ こくうまシーフード」を2019年8月に発売しました。

また、「じゃがいも本来の味を楽しんでいただきたい」という思いで、厚切りで素材感を訴求している「PURE POTATO じゃがいも心地」が、発売よりご好評いただいています。2019年9月には「PURE POTATO じゃがいも心地」の姉妹商品として、短冊状にカットした「PURE POTATO じゃがいもの余韻」を発売し、TVCMによる広告宣伝も実施しました。

新市場創出のための新規商材として、大豆たんぱく質を使用した唐揚げ風スナック「罪なきからあげ」を2019年9月にエリア限定で発売しました。

以上により、国内の売上高は7,185百万円（前年同期比0.3%増）となり、セグメント利益は21百万円（前年同期はセグメント損失101百万円）となりました。

<海外>

台湾事業では、大手小売チェーンからの販売促進費用の要求が厳しくなる中、ポテトチップスに比べ原価率が相対的に低いコーンや小麦原料の商品の継続的な拡販に努め、利益拡大を図りました。

ベトナム事業では、複数の新商品を上市するとともに、現地の映画公開にあわせたキャンペーンを実施するなど売上拡大に努めました。また、製品規格の見直しや原材料単価削減、生産数量の増大により原価率が着実に改善しています。一方、販売チャネル強化、再構築を進めていますが、主に個人商店に対する販売において改善途上であり、いまだ投資が先行する状況にあります。

タイ事業では、以前より現地スナックメーカーに対し当社ブランド製品の製造販売を委ね、ロイヤルティとして対価を得るビジネスを展開していましたが、昨年度設立した販売子会社を通じ自社販売へとビジネススキームを変更しました。ついては、当第1四半期連結累計期間からは、現地法人の売上が連結売上高として計上されています。

以上により、海外の売上高は767百万円（前年同期比35.5%増）となり、セグメント損失は22百万円（前年同期はセグメント損失32百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,683百万円減少し、20,848百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少（1,203百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（518百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,400百万円減少し、8,834百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（561百万円）、買掛金の減少（545百万円）及び未払法人税等の減少（105百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ283百万円減少し、12,013百万円となり、自己資本比率は57.0%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（261百万円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,295	4,932
受取手形及び売掛金	5,599	5,081
商品及び製品	824	774
仕掛品	—	13
原材料及び貯蔵品	476	1,062
その他	273	210
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,468	12,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,079	2,092
機械装置及び運搬具(純額)	2,367	2,260
土地	1,594	1,595
その他(純額)	147	192
有形固定資産合計	6,189	6,140
無形固定資産		
その他	408	479
無形固定資産合計	408	479
投資その他の資産		
その他	3,465	2,156
投資その他の資産合計	3,465	2,156
固定資産合計	10,063	8,776
資産合計	22,532	20,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,720	3,175
未払金	3,434	2,873
未払法人税等	153	48
賞与引当金	7	196
役員賞与引当金	—	5
その他	691	298
流動負債合計	8,008	6,597
固定負債		
役員退職慰労引当金	336	—
退職給付に係る負債	1,766	1,763
その他	123	473
固定負債合計	2,226	2,237
負債合計	10,235	8,834

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	7,887	7,626
自己株式	△2	△2
株主資本合計	12,309	12,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	30
為替換算調整勘定	△57	△92
退職給付に係る調整累計額	△105	△99
その他の包括利益累計額合計	△122	△161
非支配株主持分	110	127
純資産合計	12,297	12,013
負債純資産合計	22,532	20,848

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
売上高	7,731	7,952
売上原価	5,047	5,080
売上総利益	2,684	2,872
販売費及び一般管理費	2,828	2,898
営業損失（△）	△143	△26
営業外収益		
受取利息	3	3
投資有価証券売却益	—	47
持分法による投資利益	1	0
受取保険金	8	—
その他	26	3
営業外収益合計	39	54
営業外費用		
支払利息	0	0
投資有価証券売却損	—	18
固定資産売却損	1	—
その他	1	6
営業外費用合計	3	26
経常利益又は経常損失（△）	△107	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失（△）	△107	1
法人税、住民税及び事業税	15	20
法人税等調整額	△24	7
法人税等合計	△9	27
四半期純損失（△）	△97	△26
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	21
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△116	△48

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△97	△26
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△9
為替換算調整勘定	15	△39
退職給付に係る調整額	5	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	25	△43
四半期包括利益	△72	△69
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90	△87
非支配株主に係る四半期包括利益	17	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下「IFRS第16号」)を適用しております。IFRS第16号の適用により、借手のリース取引については、原則として全てのリースについて資産及び負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。なお、当第1四半期連結会計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,165	566	7,731	—	7,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	—	28	△28	—
計	7,194	566	7,760	△28	7,731
セグメント損失(△)	△101	△32	△133	△10	△143

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△10百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,185	767	7,952	—	7,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	—	39	△39	—
計	7,225	767	7,992	△39	7,952
セグメント利益又は損失(△)	21	△22	△0	△25	△26

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△25百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は前連結会計年度まで食品関連事業の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分について、今後の事業展開、経営資源の配分、及び経営管理体制の観点から見直した結果、経営情報をより適切に表示する目的で、従来の食品関連事業の単一セグメントから「国内」、「海外」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。